

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南信州地域資源活用商品開発オープンイノベーションプラットフォーム構築事業
事業主体 (連絡先)	公益財団法人南信州・飯田産業センター 〒395-0001 飯田市座光寺3349-1エス・バード 0265-52-1613 msoip@isilip.com
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,119,913,000円 (うち支援金: 895,000,000円)

事業内容

地域にある様々な資源を、オープンイノベーション(OI)の考え方にに基づき地域の産業とかけ合わせることで「地域資源活用商品」として地域外に発信していくための、地域住民・各種団体関係者・農林業者等の地域資源関係者が商工観光業者・産業支援機関と出会い、交流し、協働・共創するためのプラットフォーム構築に取り組んだ。

- ①地域資源活用シンポジウム2022(10/16)
- ②南信州地域資源交流展示会2022秋(11/9)、2023冬(2/16)
- ③地域資源OIPセミナー(11/16・11/30、12/20、1/26、2/22)
- ④マーケティング相談窓口(随時)、南信州地域資源交流サロン(3/3)



【交流展示会 多様な主体が交流】

事業効果

①専門家によるOIについての解説を踏まえ、地域内外の地域資源活用事例を紹介することで、異業種連携や事業者以外の地域住民も参画した上での地域資源OIに向けた機運が高まった。

→シンポジウム96人

②地域資源活用に興味・関心のある様々な立場の参画者との交流を通じて、具体的な商品開発のイメージが持てる機会を提供することにより、地域資源OIに対する主体的な参画者を得ることができた。

→交流展示会秋17コマ60人、冬22コマ112人、交流サロン18人

③顧客価値に重きを置いたマーケティング志向の地域資源活用商品開発・地域ブランド構築の実現、OIの成功に欠かせない知的財産権・契約に関するトラブルの回避に向けて、多様な主体が参画して共同学習する機会を提供できた。

→セミナー延100人(実践的マーケティング延37人、知的財産権入門20人、契約の基礎入門17人、地域資源と顧客ニーズを結ぶ商品開発26人)

④伴走支援する共同プロジェクトを設立するための素地ができた。

→マーケティングマネジメント支援6者、交流サロン17人



【セミナー OI実現に向けて学んだ】

【目標・ねらい】

- ①多様な主体の参画による地域資源OIの実現に向けた可能性・展望の示唆
- ②地域資源OIの実現に向けた主体的な取り組みの喚起
- ③商品開発・OIに必要なノウハウの習得
- ④今後産業センターが支援する多様な主体の参画による共同プロジェクトの創出

今後の取り組み

参画促進によりプラットフォームの機能を高めるとともに、OI実例を創出することにより参画する意義を示し、プラットフォームの自走に向けたエコシステムを構築する。

①地域資源活用シンポジウムの開催を重ね、様々な立場・分野からのさらなる参画に向けた啓発を展開する。

②南信州交流展示会では、共通するテーマなどによるパビリオンの形成を図り、ブランド地域産品の新規創出及び地域全体のブランド高揚に向け、産業クラスターの形成に向けた「強いコンテンツ」を核とする多角的な主体の参画による同時多発的なOIの実践を促進する。

③応用・発展的な内容を含めたマーケティング・知的財産のセミナーを継続的に開催するとともに、ブランド構築に必要なデジタル活用を含むプロモーション、食品の商品開発・ブランド化で重要となる機能性表示を含む食品表示等のテーマのセミナー開催も検討する。

④南信州地域資源交流サロンを定期的に開催し、各イベントの基礎となる参画者間のコミュニティを醸成し、共同プロジェクトチーム設立を促進する。

※自己評価【 C 】

【理由】

地域資源活用をテーマに多様な主体が参画するOIプラットフォーム構築は前例のない取り組みであり、誰でも参加できる地域住民と産業人の交流・共同学習機会を創出できた。参加者ニーズに即しているとの評価があり、今後に向けた関係者の期待は大きい。ただし、具体的な商品開発、地域ブランド高揚といった成果を達成するためには、参画を増やすための広報の強化や、参加者間の関係性を深める頻繁な交流機会の提供が必要である。